



第 79 号
平成27年 9 月 30 日 発行
編集・発行
(一社)新潟県サッカー協会広報委員会

2015紀の国わかやま国体 少年男子・成年男子出場!!

少年男子 新潟 VS 北海道
9月28日(月) 14:00 上富田スポーツセンター
成年男子 新潟 VS 奈良
9月27日(日) 9:30 橋本市運動公園

和歌山国体に向けて

新潟県少年選抜チーム監督 最所 順之

今年度のU16選抜チームは、3月にスタートしました。チーム立ち上げのミーティングで、新潟県選抜チームに求められ選手像として、1. 闘うことが出来る選手、2. ハードワークでできる選手、3. 観て判断できる選手の3つを要求しました。そのうえで、チーム目標として、昨年の国体成績のベスト4を上回る『和歌山国体でのファイナリスト』を目標に掲げました。

甲信越静大会からトレセンリーグ、そして北信越国体への活動で、延べ34人の選手を召集させていただきました。この人数は、近年の選抜活動のなかで

多い数字だと思えます。それぞれの選手が、成果であり、その意味も含めて新潟を代表して和歌山で闘ってきたと考えています。

3月からの活動で、多くの選手のポジティブな変化を見ることができました。この原稿執筆時点で和歌山国体の組み合わせは決まっていますが、どこもあたる新潟代表として堂々と闘うことができるという確信が持てています。準備期間も残り少なくなりましたが、チームとしての意識を共有して完成度を高め、選手・スタッフが一致団結して目標達成に向けて頑張ってきたと思います。

和歌山国体に向けて

新潟県成年男子選抜チーム監督 有田 一矢



今回、和歌山国体に出場するにあたり、たくさんの方にご支援をいただき心より感謝しております。今年度の新潟県成年男子チームは新潟経営大学、新

潟医療福祉大学、JAPANサッカーカレッジの3チームからの選抜チームで構成されたチームで第36回北信越国民体育大会(富山県開催)に臨み1回戦勝利、延長戦を延長戦の末2対1で勝利、代表決定戦の富山県成年男子には4対1で勝利することができまし



U16トレセンリーグ (前期) 結果
1位 長野(3勝1分 得失+14)
2位 新潟(3勝1分 得失+8)
3位 石川(2勝2敗)
北信越国大会 結果
(5チーム中本国体出場枠 2)
新潟 2-1 福井
新潟 0-0 石川 (PK 4-5)



第95回天皇杯全日本サッカー選手権大会

3回戦新潟開催!!【デンカビッグスワンスタジアム】
アルビレックス新潟 VS 徳島ヴォルティス
2015年10月14日(水) 19:00 キックオフ

先に新潟で開催された第95回天皇杯全日本サッカー選手権大会2回戦はアルビレックス新潟がブラウブリッツ秋田(J3)を4対0で破り3回戦に進出しました。

アルビレックス新潟はリーグ戦から大きく選手を入れ替えてベテランと若手の組合せという新たな編成で試合に臨みましたが見事な融合でJ1チームの力を見せつけました。特に2種登録の高校生(アルビユース)は序盤こそ緊張が見えたものの宮崎選手の豊富な運動量、長谷川選手の初アシスト、そして斎藤選手の公式戦初ゴールと大活躍でした。若い力が着実に育っていることを実感させる希望溢れる試合でした。

勝利したアルビレックス新潟は10月14日デンカビッグスワンにJ2の徳島ヴォルティスを迎え3回戦を戦います。ここ数年、何故か壁になっている3回戦ですが2回戦でみせた若い力とそれを引き出すベテランの経験が勝利につながるものと期待したいものです。

平日の開催ではあります。多くの皆様のご来場とご声援をお願いいたします。

なお、4回戦(ラウンド16)以降の組合せ及び日程は3回戦終了後に発表されます。



3種年代大活躍!

クラブユース選手権を終えて

アルビレックス新潟U-15監督

高橋 直樹

この度、8月3日か勝ち抜きノックアウトから北海道帯広市で行われ、ラウンド進出することになりました。第30回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会に引き続き、大会が続き中での連戦で大変厳しいゲームが続きましたが、予選すべて先制点を奪い主導権を握って戦うことができた。結果は3勝のグループ1位で予選突破することができました。この度、8月3日か勝ち抜きノックアウトから北海道帯広市で行われ、ラウンド進出することになりました。第30回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会に引き続き、大会が続き中での連戦で大変厳しいゲームが続きましたが、予選すべて先制点を奪い主導権を握って戦うことができた。結果は3勝のグループ1位で予選突破することができました。この度、8月3日か勝ち抜きノックアウトから北海道帯広市で行われ、ラウンド進出することになりました。第30回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会に引き続き、大会が続き中での連戦で大変厳しいゲームが続きましたが、予選すべて先制点を奪い主導権を握って戦うことができた。結果は3勝のグループ1位で予選突破することができました。



クラブユース選手権U-15出場報告

グランセナ新潟FCジュニアユース監督

丸山 有一

この度、設立9年目として初の表記全国大会へ出場することができました。はじめに関係の皆様方にご協力いただき、大会の予選ラウンドは8月3日より開幕し、同グループでは横濱Fマリノス、名古屋グランパス、FC愛媛と対戦しました。日頃Jリーグアカデミ



日本クラブユースU-15サッカー選手権出場について

長岡JYFC 西田 勝彦

今大会は、8月3日〜12日の日程で北海道帯広市で開催され、4チーム12ブロックの48チームにより、グループステージ(リーグ戦)、ノックアウトステージ(トーナメント)で優勝を争う大会でした。

今年、北信越の出場チーム4枠(アルビレックス新潟、長岡JYFC、グランセナ新潟、ツエーゲン金沢)のうち3チームが、新潟県内から出場ということ、県全体の取り組み、育成の成果など、大会に出場するからには、「優勝を目指す」ということを、選手・スタッフ共に、目標を定め大会に臨み短期決戦では、ムードメーカー・ラッキーボーイの存在は重要であると考えていました。

メンタリティーで戦う熱い気持ちと良い判断をする冷静さの両方を合わせ持ちながら、ゲームをする事を求めました。コンセプトについては、積極的にゴールを目指し、ゴールまでのイメージを共有すること。積極的に関わり、奪い所を共有し、意図的にボールを奪うこと。素早い攻守の切り替

え、の3つを常に選ぶことにしました。そして、時間・スペース・タイミング・距離・人数という5つのキーワードを選手に投げかけ、ゴールを奪うために、ボールを奪うことを、という本質の部分に、より具体的に、コーチングしあえる様に、5つのキーワードを大切にトレーニングしてきました。

そして、大会に臨むにあたっては、守備意識をさらに高くもつて、先に失点しないこと。対戦するチームは全て、地域予選を勝ち抜いてきた実力あるチーム。先に失点すると、戦いが難しくなること。予想できます。

グループステージでは、3試合全て先制し、冷静に試合を進めることができました。

この度は、小針中学校サッカー部の北信越、全国大会出場に際して、新潟県中学校体育連盟サッカー専門部をはじめ、各サッカー関係者の皆様より、様々な場面で温かなご指導ご支援、心強いご声援をいただきました。

感謝申し上げます。本当にありがとうございます。さて、全国大会の1回戦は桐蔭学園中学校(神奈川県1位/関東ブロック5位)との対戦。前半開始4分、小針のサイド攻撃で先制。18分、中央にパスが出たところを個人技で突破し2得点目。しかし、32分に相手のコーナーから失点をし、後半開始6分にPKを決

全国制覇を合言葉に

鳥屋野中学校サッカー部顧問

五十嵐 勝彦

鳥屋野中学校では、文武両道を目指して、今年度の3年生の目標は、「全国制覇」でした。3年生は、「全国制覇」を合言葉に全国中学校サッカー大会で活躍する自分自身を信じ、入部当初から練習に励んできました。グラウンドには、この「全国制覇」という目標が掲げられています。試合で負けて落ち込んだときや選手自身が伸び悩み、くじけそうになったとき、グラウンドでこの言葉を思い出すことで立ち上がり、仲間と競い合っていました。目標を達成するために、3年生

は毎日の練習に意欲的に活動し続けてきました。そして、その努力が実り、北海道帯広市で行われた全国中学校サッカー大会に出場することができました。試合は、帝京大学付属中学校に0-2で敗れてしまいました。北信越大会後、ミーティングを重ね、「前線から積極的に守備を保ってボールを奪い、ゴールに向かう」という戦い方を選手と決まっていた。相手チームよりも走り、強い気持ちで最後まで戦っていました。

最後になりましたが、鳥屋野中学校サッカー部を応援・支援してくださった保護者やサッカー関係者の方々、学校職員、OB、地域の方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

められ、2-2の同点に追いつかれ延長戦へ。延長戦は相手の個人技を止めきれず、後半とも1失点ずつ。結果2-4(2-2)で1回戦敗退と悔しい結果となりました。全国の舞台で勝利を飾ることはできませんでしたが、「北信越大会優勝」という最大の目標を部員全員で達成することができたことや、北信越、全国の舞台でも小針のサッカーをやり続けられた選手たち、心を一つに応援し続けてくれた部員全員を心から讃えたいと思



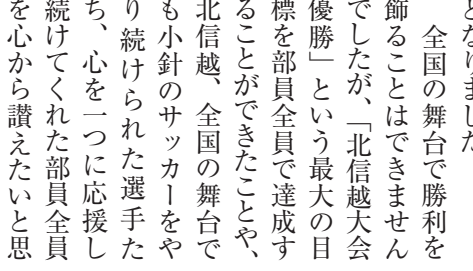
全国大会を終えて

新潟市立小針中学校 稲葉 丞

この度は、小針中学校サッカー部の北信越、全国大会出場に際して、新潟県中学校体育連盟サッカー専門部をはじめ、各サッカー関係者の皆様より、様々な場面で温かなご指導ご支援、心強いご声援をいただきました。

感謝申し上げます。本当にありがとうございます。さて、全国大会の1回戦は桐蔭学園中学校(神奈川県1位/関東ブロック5位)との対戦。前半開始4分、小針のサイド攻撃で先制。18分、中央にパスが出たところを個人技で突破し2得点目。しかし、32分に相手のコーナーから失点をし、後半開始6分にPKを決

められ、2-2の同点に追いつかれ延長戦へ。延長戦は相手の個人技を止めきれず、後半とも1失点ずつ。結果2-4(2-2)で1回戦敗退と悔しい結果となりました。全国の舞台で勝利を飾ることはできませんでしたが、「北信越大会優勝」という最大の目標を部員全員で達成することができたことや、北信越、全国の舞台でも小針のサッカーをやり続けられた選手たち、心を一つに応援し続けてくれた部員全員を心から讃えたいと思



JFA FFPトレセン研修会U-12 について

4種技術部長 星 直樹

U12新潟トレセンは、7月29日〜8月2日の5日間、静岡県御殿場市で、JFAフットボールフューチャープログラム トレセン研修会U-12に県選手16名(FP14名、GK2名)が参加いたしました。

研修の趣旨は「U-12年代のチームの活動と個の活動を両立させ、選手の日常的な活動を充実させること」で、日本サッカーのレベル向上と、将来日本代表を目指す選手を育成すること」という目的のもと開催されました。

日程は、1日目に各県TR、2日目1次ラウンド4チームのリーグ戦(栃木、長崎、秋田)、3日目クワトロゲーム、4、5日目は順位決定リーグを行う日程でした。

1次ラウンドは、10分3ピリオド制(8人制)。1、2ピリオドは8人2グループで全員出場。3ピリオドは自由な交代)で行いポイントが付きます(勝90P、引分30P、1得点10P)。また1次ラウンドのみPK戦(勝20P、引分10P)を行います。クワトロゲームは、新潟県の選手が他県選手と混ざり、1試合毎にチームを変え、ポイント制(勝5P、

たことが要因だと思えます。

今回選手育成の観点から、他県との比較(選手、指導方針、現状)ができて、今後の方向性を決める材料がはつきり見えるよい事業と考へております。今後も、新潟の強化育成のためにこの事業をどう活用していくかを考へてまいります。

最後に、この成果は新潟県4種指導者のご努力とレベルの高さを示すことであると共に、これからの新潟県を支えていくことだと考へております。ご関係頂いた皆様ありがとうございました。

順位決定リーグでは、このレベルになるべく予選リーグでは出ていたドリブルして抜け出しシュートするような形だけでは得点が奪えない(個々の突破も鍛えていきながら)のでサイドからのクロスボールからの得点や、セットプレーでのゴール前での入り方の基本などもトレーニングしていかなくてはならないと感じました。

結果的には、1次ラウンドで差(得点でポイントが付く)をつけ、順位決定リーグで総得点差2位になれた要因は、得点力の高さが要因だと思えます。

また大会期間中、体調不良者を出さずには戦えたのは、目的のために貼る)に睡眠休養はどうとるか、食事は何を食べたかどうか、指導に影響するののか、指導したことを自分たち自身で確認しながら行っ

バーモントカップ第二十五回フットサル大会を終えて

クラブ・エフスリー監督 松原 有弘

この度、クラブ・エフスリーは八月十四日〜十六日の3日間、東京で開催されたバーモントカップ第二十五回フットサル大会決勝大会に出場しました。

創立十一年目、九回目の挑戦で初めて新潟県代表として全国大会に出場の切符を獲得しました。

新潟県代表として出場するからには日本一を目指し練習に取り組みました。北信越五県での交流戦、関東、関西のチームとの練習試合を重ねて半年間の調

予選は、四チームリーグ戦で、決勝トーナメントに進めるのは十二ブロックリーグの一位チームと、二位チームから上位四チームのみという難しい条件です。一つ負けると予選敗退の可能性が高く、二勝一分けがボーダラインになると選手とも確認し予選リーグに臨みました。

初戦のサウサール(鹿児島県)戦では緊張から開始三分で三失点、シュート本数、ボール保持率は相手を上回るも得点が奪えず一対四で初戦を落としました。



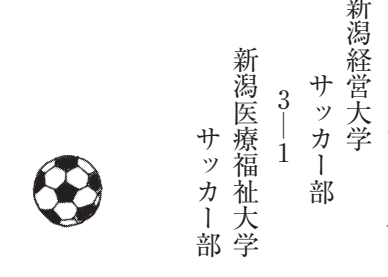
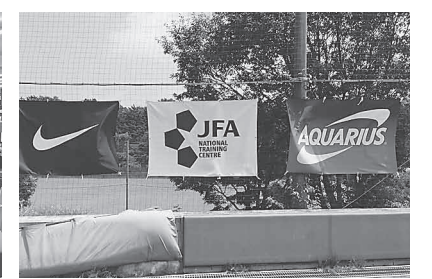
後半は一対一やシュート本数ではセレッソを上回っていましたが結果一対四でベスト十六敗退となりました。

自分達のフットサルは全国でも十分通用することが分かったチームとして自信をつける事ができました。

この経験は次の全日本少年サッカー大会にも生かせるように準備していきたいと思っています。最後に、このような

改めて技術、戦術だけでなく勝てない事を痛感しました。

試合結果 table with columns for match number, teams, and scores.



2015新潟日報杯・NHK杯・共同通信杯 第20回新潟県サッカー選手権大会 県代表決定戦

スマイル&チャレンジ 当協会にご支援いただいている法人各社 TONYテレビ新潟 BSN新潟放送 新潟日報 東北電力 総合生協 新潟県信用基金協会 2007年宣言の実現のため諸事業に取り組んでいます!!

「第50回 天皇杯全日本サッカー選手権大会を終えて」

JAPANサッカーカレッジ監督
野上 毅

はじめに、新潟県サッカー選手権大会期間中におかれましては、新潟県サッカー協会関係者をはじめ、様々な方から多大なるご支援・ご協力を賜り、大変感謝しております。

1 回戦の相手は過去 5 回の優勝を誇る東京ヴェルディ（J2）と対戦し、結果は残念ながら 1-5 でプロとアマチュアの差を見せつけられる敗戦となりました。

この天皇杯という大会をチームでの位置づけとして、勝負にこだわることはもちろんですが、挑戦する側がプロチーム相手にどう戦うか、勇気をもって自分たちのサッカーがどれだけできるかも重要だと考えて戦いました。

『全日本女子フットサル選手権大会新潟県大会参加と新潟県女子フットサル活動』

ALogar 2005 監督
永井 貴人

第13回新潟県女子フットサル大会兼第12回全日本女子フットサル選手権大会新潟県大会が2015年8月2日（日）、新潟市北区豊栄総合体育館にて開催された。2014年大会の参加チーム数7チームに対し、今大会は4チームの参加。大会期間も前回大会2日間に渡って行われたのに対し今大会は1日のみの日程となる等、規模縮小で開催された。

今大会の優勝候補は、連覇を狙うBLA TTUS。前回大会優勝のメンバーの多くが在籍、自軍深くまで手を引き込んでからの加藤を中心としたカウ

き、流れの中で得点で

るJFL昇格を達成し、もう一つ上のカテゴリーで戦いながら選手を成長させ、チームを強化していかねばならないと考えさせられた大会でもありました。

今後は、JFL昇格をかけて11月に行われる全国地域リーグ決勝大会出場権獲得に向けて、北信越フットボールリーグ優勝、全国社会人サッカー選手権大会3位以内を目指し戦って参りますので、今後ともご支援・ご協力をお願い致します。

勝大会出場権獲得に向けて、北信越フットボールリーグ優勝、全国社会人サッカー選手権大会3位以内を目指し戦って参りますので、今後ともご支援・ご協力をお願い致します。

勝大会出場権獲得に向けて、北信越フットボールリーグ優勝、全国社会人サッカー選手権大会3位以内を目指し戦って参りますので、今後ともご支援・ご協力をお願い致します。

なでしこジュニアアカデミー

中越地区女子委員長 俵山 和美

十日町市では、主にジュニア世代を対象としたサッカー交流のイベント、「なでしこジュニアアカデミー」を行っています。このイベントは、インスタラクターに新潟医療福祉大学の若杉透氏を招き、数年前から地域活動として、年に2回、3回開催を目安に、継続的に行ってきまし

た。幼児から小学生、付き添いのお母さん、お父さん方を含め、地元チームからはスタッフを兼任して参加し、幅広い年代でサッカーを通しての地域交流と

を促しています。このイベントは、インスタラクターに新潟医療福祉大学の若杉透氏を招き、数年前から地域活動として、年に2回、3回開催を目安に、継続的に行ってきまし

た。幼児から小学生、付き添いのお母さん、お父さん方を含め、地元チームからはスタッフを兼任して参加し、幅広い年代でサッカーを通しての地域交流と

とらわれず、楽しみながらサッカーを体験してもらっています。

昨年の参加人数は、2回の開催で大人も含め合計120人以上になり、1回目の開催時にはアカデミー終了後に、参加者でパーベキューを行いました。このイベントに参加することで、参加者同士の交流も生まれていたのでないかと思っています。こういったイベントを行ってきたのも、なでしこジャパンの人気から

女子サッカーへの関心が高まる中、普及と、また未来のなでしこ選手への発掘へ繋がる足がかりになればとの期待でししたし、今後もその期待を込めながら続けていきます。

お子さんの体力つくりの為や友達を増やす為、またちょっと行ってお礼申し上げます。

お子さんの体力つくりの為や友達を増やす為、またちょっと行ってお礼申し上げます。

全国高等学校 定・通サッカー大会に参加して

県立長岡明德高等学校サッカー部顧問
斉藤 貴嗣

平成27年8月7日（日）に第25回全国高等学校定時制通信制サッカー大会が静岡県の清水区で開催されました。長岡明德高校サッカー部が新潟県の代表として出場してきました。

1 回戦、岐阜県代表の大垣工業高校と対戦しました。序盤から積極的なボールを奪いに行き、相手陣内で試合を進めることができ

ました。しかし、なかなかフィニッシュまではいけない中、効果的なロングボールを通して、先制されてしまいました。欲しかった

先制点を逆に相手に許してしまい、チーム全体が動揺する中、さら

女子サッカーへの関心が高まる中、普及と、また未来のなでしこ選手への発掘へ繋がる足がかりになればとの期待でししたし、今後もその期待を込めながら続けていきます。

お子さんの体力つくりの為や友達を増やす為、またちょっと行ってお礼申し上げます。

お子さんの体力つくりの為や友達を増やす為、またちょっと行ってお礼申し上げます。

お子さんの体力つくりの為や友達を増やす為、またちょっと行ってお礼申し上げます。

お子さんの体力つくりの為や友達を増やす為、またちょっと行ってお礼申し上げます。

今年度は、2 回目の「なでしこジュニアアカデミー」が10月4日に開催されますので、興味がある方は十日町市サッカー協会までお問い合わせください。

今年度は、2 回目の「なでしこジュニアアカデミー」が10月4日に開催されますので、興味がある方は十日町市サッカー協会までお問い合わせください。

今年度は、2 回目の「なでしこジュニアアカデミー」が10月4日に開催されますので、興味がある方は十日町市サッカー協会までお問い合わせください。

今年度は、2 回目の「なでしこジュニアアカデミー」が10月4日に開催されますので、興味がある方は十日町市サッカー協会までお問い合わせください。

今年度は、2 回目の「なでしこジュニアアカデミー」が10月4日に開催されますので、興味がある方は十日町市サッカー協会までお問い合わせください。

が、猛暑の中、最後まで諦めずに走り続け、一杯戦った結果だと思っております。

振り返れば2年前は部員が2、3名しかいないチームでした。満足な練習ができない中、それでも本大会出場を目標に練習を続け、新年度を迎えることに少しづつですが新入部員も入ってくれました。人数が揃わない中でも県大会に出場し、8人対11人で試合をしたこともありまし

た。現在は12名と人数も揃い、11人対11人で、あの天然芝の素晴らしさを味わっています。またあのピッチに戻れるようにこれからも練習に励みたいと思います。

最後に、今大会参加

最後に、今大会参加



東日本大震災 復興支援
がんばろうニッポン!
 サッカーファミリーのチカラをひとつに!

2015チャレンジ新潟

今年で第5回目になる「2015チャレンジ新潟」を7月26、27日、東日本大震災復興と新潟県の強化育成を目的とし新潟聖籠スポーツセンターにて開催いたしました。

今年度は、昨年の反省を生かし公式戦が重なっていたU15カテゴリーを秋開催に移動、U12の男女で開催いたしました。

今年度も東北、北関東を中心に、U12男子はベガルタ仙台(宮城県)、フアナテイコス(群馬県)、U12女子は戸木南ボンバーズFC(埼玉県)、フェアリーズいわき(福島県)に参加頂き強化育成をはからせていただきました。

新潟は、男女共に、U12が2チーム、U11が1チームの各3チームが参加し各5チームのリーグ戦を行いました。チャレンジ新潟は、優勝を決めることを一番の目的とせず、男女問わず各カテゴリーの課題問題点の改善を第一の目的とし、強化育成できる出来る事が最大の特徴です。

2日間とも天候もよく、参加した選手もよいパフォーマンスが出せたと思います。

新潟の成果として男女ともに、春に行った北信越トレセンから選手の成長が確認でき、2日間通して技術的な(特にフィニッシュ、パス&コントロールの質)向上が見られたことが大きな成果でした。課題として、闘いの中で個人技術の課題を選手個人が感じられるいい機会になりました。この部分は、今後の活動に生かしていきたいと思えます。

また、U12男子の一部の選手は、7月29日から5日間、日本サッカー協会が行うフューチャープログラム(内容は別記事参照)に参加する最終確認の場になりました。得点を多くとり勝負に勝つことを目標とし、個人の判断、技術に働きかけを行った結果、フィニッシュの精度が増したと、宿泊を伴う中でオフザピッチでの生活指導の再確認することができ、よい強化になりました。



参加頂いた各チームの代表の方からも「新潟県のレベルが非常に高いので良い強化の場



「ユース年代の審判員」育成研修会に参加して

高野 康

7月29日から31日、新潟県、時之栖スポーツセンターにて、2泊3日で行われた、「ユース年代の審判員」育成研修会に、新潟県ユース年代の審判員として参加して参りました。

7月29日から8月2日の5日間の日程で、日本協会主催のU12の各県選抜チームによる8人制サッカー(1人審判制)の全国大会が、同じ場所で行われ、その審判員を3日と後半の2泊3日の2班に分けて行われ

「第7回KurucO新潟県サッカーフェスティバルU-8」について

第四種委員長 石川 正記

第四種委員会で、アクシオンプラン2015を視野に四種登録人数の維持拡充を目標として標記フェスティバルを企画運営して

様々な方々の努力によってここ十年ほど四種登録人数は少子化の波にも流されることなく、五千五百人をほぼ下回ることなく推移してきた。

2015年度U18審判員育成講習会 報告書

新潟県代表 中越高校2年 小林 璃央

期間 2015年7月29日～8月2日
 競技会場 静岡県御殿場高原時之栖 裾野グラウンド・時之栖グラウンド

参加者 宮城・鳥取・香川・高知を除く各都道府県U18審判員43名

研修は、プラクティカルトレーニング(見学)、ユース審判員の指導、評価、講義、ディスカッションといった内容で行われました。

研修は、プラクティカルトレーニング(見学)、ユース審判員の指導、評価、講義、ディスカッションといった内容で行われました。

サッカーフェスティバルについて

新潟県サッカー協会キッズ委員会では、キッズ年代(小学校4年生以下)の普及・底辺の拡大や今までサッカーに関心がなかった子どもや保護者にサッカーを楽しんでもらえる環境を提供し、子どもたちの心身の健全な育成に努めています。U-6・U-8・U-10のカテゴリーにわけ、12回の開催を計画し、これまで5回を終了しました。まだまだ回数を残しております。

今回の大会は3ピリオド制の試合でした。主審：3試合、補助審判：3試合担当させてもらいました。

審判実技について 今回の大会は3ピリオド制の試合でした。主審：3試合、補助審判：3試合担当させてもらいました。



【Football For All】だ

第19回国際ユースサッカー in 新潟

U-17日本代表復活の優勝!! U-17新潟選抜連覇を逃す!!

国際ユースサッカーを終えて
3年間の集大成として
U-17新潟県選抜監督 藤田 敬三

今回は、国際ユースサッカーを終えて、3年間の集大成として、U-17新潟県選抜監督 藤田 敬三。今回は、国際ユースサッカーを終えて、3年間の集大成として、U-17新潟県選抜監督 藤田 敬三。今回は、国際ユースサッカーを終えて、3年間の集大成として、U-17新潟県選抜監督 藤田 敬三。

今回は、国際ユースサッカーを終えて、3年間の集大成として、U-17新潟県選抜監督 藤田 敬三。今回は、国際ユースサッカーを終えて、3年間の集大成として、U-17新潟県選抜監督 藤田 敬三。今回は、国際ユースサッカーを終えて、3年間の集大成として、U-17新潟県選抜監督 藤田 敬三。

今回は、国際ユースサッカーを終えて、3年間の集大成として、U-17新潟県選抜監督 藤田 敬三。今回は、国際ユースサッカーを終えて、3年間の集大成として、U-17新潟県選抜監督 藤田 敬三。今回は、国際ユースサッカーを終えて、3年間の集大成として、U-17新潟県選抜監督 藤田 敬三。

今回は、国際ユースサッカーを終えて、3年間の集大成として、U-17新潟県選抜監督 藤田 敬三。今回は、国際ユースサッカーを終えて、3年間の集大成として、U-17新潟県選抜監督 藤田 敬三。今回は、国際ユースサッカーを終えて、3年間の集大成として、U-17新潟県選抜監督 藤田 敬三。

国際ユースサッカー
in 新潟 報告書

7月18日(土)～20日に開催された第19回国際ユースサッカー in 新潟は梅雨空高温多湿の日、快晴酷暑の日と厳しい環境の中、U-17新潟選抜・U-17日本代表・U-17メキシコ代表・U-17セルビア代表の4チームで競技が行われました。結果は次表のとおり日本代表が8年振りの優勝を果たしました。新潟選抜はセルビアに勝利したものの残念ながら3位に終わりました。連覇を狙う新潟選抜と復活を目指す日本代表、昨年の雪辱を期す海外チームの激戦に多くの皆様の声援をいただきました。誠にありがとうございました。



第19回国際ユースサッカー in 新潟 大会結果

	U-17日本代表	U-17メキシコ代表	U-17新潟選抜	U-17セルビア代表 セルビア棄権により不成立	勝点	得点	失点	点差	順位
U-17日本代表		4 ○ 0	4 ○ 1	セルビア棄権により不成立	6	8	1	7	1
U-17メキシコ代表	0 ● 4		3 ○ 0	1 ○ 0	6	4	4	0	2
U-17新潟選抜	1 ● 4	0 ● 3		3 ○ 1	3	4	8	-4	3
U-17セルビア代表	セルビア棄権により不成立	0 ● 1	1 ● 3		0	1	4	-3	4

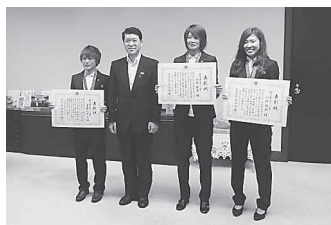
国際ユースサッカー教室

7月18日(土)～20日(月)の3日間、国際ユースサッカー in 新潟の試合前に、強化育成普及を目的としたサッカー教室を行いました。また、普段優しい口調でお話しされる山口さんがサッカー教室にいらしたことが、選手たちにとって大きな励みとなりました。また、普段優しい口調でお話しされる山口さんがサッカー教室にいらしたことが、選手たちにとって大きな励みとなりました。

今回、指導者としてサッカー日本代表、アルビレックス新潟の元選手、内田潤コーチ、片瀬浩一郎コーチとアルビレックス新潟の育成普及部のコーチによるサッカー教室を行いました。また、7月20日には、アルビレックス新潟の元選手、内田潤コーチ、片瀬浩一郎コーチとアルビレックス新潟の育成普及部のコーチによるサッカー教室を行いました。

また、7月20日には、アルビレックス新潟の元選手、内田潤コーチ、片瀬浩一郎コーチとアルビレックス新潟の育成普及部のコーチによるサッカー教室を行いました。また、7月20日には、アルビレックス新潟の元選手、内田潤コーチ、片瀬浩一郎コーチとアルビレックス新潟の育成普及部のコーチによるサッカー教室を行いました。

また、7月20日には、アルビレックス新潟の元選手、内田潤コーチ、片瀬浩一郎コーチとアルビレックス新潟の育成普及部のコーチによるサッカー教室を行いました。また、7月20日には、アルビレックス新潟の元選手、内田潤コーチ、片瀬浩一郎コーチとアルビレックス新潟の育成普及部のコーチによるサッカー教室を行いました。



川村・上尾野辺・北原選手 新潟県表彰・新潟県体育協会表彰 受章

今年7月に開催されたFIFA女子ワールドカップカナダ大会において活躍した川村優理(新潟市出身)、上尾野辺めぐみ・北原佳奈(アルビレックス新潟レディース所属)の3選手が新潟県並びに新潟県体育協会から各々表彰されました。代表選出から準優勝に至るまでの3選手の活躍は我々にとり大変誇らしいものでした。この活躍が次の選手に繋がることを心から願っています。準優勝に続いての受章本当におめでとうございます。

NiFA マスタープラン 2007 スタート

(一社)新潟県サッカー協会は、英語名 Niigata Football Association の略称を従来の NIFA から NiFA に変更し、これを「ニファ」と読みます。また、新たなスタートを切る NiFA を象徴するシンボルマークを作成。4本の翼は新潟、上越、中越、下越の4地区協会を表し、新潟県の形も示しています。そして4地区協会の飛躍による新たな新潟のサッカーを GOAL に向かうサッカーボールで表現しました。さらに黒いブルーは新潟の空と海、地域に根ざした NiFA を表しています。NiFA はさまざまなシーンでこのシンボルマークを使用していきます。

NiFA の理念
サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、国民の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

NiFA のビジョン

- 1.新潟県におけるサッカーの普及に努め、全ての県民がサッカーに親しむ環境を作り上げる。他の競技団体と連携し、スポーツをより身近なものとする。県民の健康で豊かな生活をサポートする。
- 2.新潟県を代表するチームが日本のトップレベルで活躍できるようサッカーの強化に努め、新潟県出身プレーヤーが国内外で活躍することで、県民に勇気・希望・感動をもたらす。
- 3.常にフェアプレーの精神を持ち、国内外の人々との友好を深め、社会に貢献する。

NiFA の目標 2015

- 2015年には、健康でゆきな組織となり、6つの目標を達成する。
- (1)新潟県内のサッカーファミリーが8万人となる。
 - (2)Uリーグ、Lリーグに新潟県出身プレーヤーを合計で10人以上輩出し、日本代表フル代表、年次別代表等に選出される選手を輩出する。
 - (3)各カテゴリーの全国大会において、新潟県チームのいずれかが常にベスト4以上の成績を修める。
 - (4)JFLに加盟するチームを育成する。
 - (5)各カテゴリーの全国大会、国際試合を誘致、運営する。

NiFA の目標 2050

- 2050年に向けて、組織基盤をさらに強固なものとし、2050年までに以下の目標を達成する。
- (1)新潟県内のサッカーファミリーが15万人となる。
 - (2)Uリーグ、Lリーグに新潟県出身プレーヤーを合計10人以上存在し続け、日本代表フル代表、年次別代表等に選出される選手を輩出し続ける。
 - (3)日本でFIFAワールドカップが開催される際には、サッカー専用スタジアムで試合を開催する。

